

南足柄市における地域まちづくり計画の取組

1 背景

南足柄市では、近年、自治会をはじめ、子ども会、老人会、消防団など、多くの地域コミュニティ組織において、加入者の減少、役員等の担い手不足、住民のコミュニティ意識の希薄化などにより、それぞれの組織の維持・運営や日常の地域活動等に支障を来している。

⇒ 地域コミュニティ組織の活性化が図られ、地域における支え合いが可能となるまちづくりが必要になっている。

2 経過

(1) 平成 28 年度までの取組

平成 27 年度から、地域コミュニティ組織の中核となる自治会長に対し、地域主体のまちづくりの考え方について理解を得るため、説明を開始した。なお、平成 28 年 1 月には、改めて自治会等で抱えている課題を把握するため、アンケート調査を実施した。

平成 28 年度においても、自治会長に対し、自治会長連絡協議会の場を利用して、地域まちづくり計画の策定の概要について説明を行った。なお、先に実施したアンケート調査の結果を自治会長に報告し、情報の共有を図った。

また、平成 29 年 2 月には、自治会長連絡協議会の場において、小田原市の木村自治会総連合会長と地域政策課担当職員を講師に招き、「小田原市の地域別計画と地域コミュニティ組織の取組み」について講演をしていただいた。特に、木村自治会総連合会長からは、自治会側からの視点に立った計画の必要性や苦勞をした点などについて話をしていただいた。

(2) 平成 29 年度以降の取組予定

平成 29 年度の上半期には、自治会をはじめとする地域コミュニティ組織に対し、地域まちづくり計画の策定の意義と必要性について説明を行い、理解を求める。下半期には、理解が得られた地域（自治会）をモデル地域（自治会）として、計画策定のための組織を立ち上げ、計画策定に取り掛かる。

平成 30 年度から、順次、計画策定の地域（自治会）を拡大する。